

電気料金審査専門小委員会における指摘事項について

資料3

番号	委員等からの宿題内容	指摘の出された委員会	委員名	
財務状況				
1	原価算定期間中、自己資本比率は改善しないというが、3割の事業報酬は本来残るはずで、増えていくのが自然ではないか。	第8回	松村委員	今回回答
2	財務状況と値上げの必要性の関係について、わかりやすいかたちで説明して欲しい。審査と財務状況を切り離すべきとする意見はわかるが、消費者は納得できないものがある。	第8回	河野オブ	次回以降回答
前提計画				
3	水力の発電電力量における、豪雨の影響の取り方について、コンシステントだったかどうか、事務局で調べて欲しい。	第8回	松村委員	次回以降回答
経営効率化				
4	新料金に反映した経営効率化について、各費目の削減率を示して欲しい。	第8回	辰巳委員	今回回答
5	出向先会社への出向目的・意義について、何で中部電力が給与負担しているか分からないので、もっと説明して欲しい。また、出向先にかかる調達コストは重要なので、それを念頭において査定する。	第8回	松村委員	次回以降回答
6	出向先に給与を補填することは、他の一般の会社と比べてイコールフットングになっていないのは確かだが、中部電力はそのような会社に経営責任があるのか。例えば出向先が赤字になったら、責任を負うというような潜在的な負担はあるのか。出向先を子会社・関連会社毎に整理して提示して欲しい。	第8回	梶川委員	次回以降回答
修繕費				
7	修繕費の推移を示してほしい。これまで計画的に修繕をやっているのか。後に先延ばしにしていないか。	第6回	辰巳委員	今回回答
8	高経年化対策はこれだけ長い間続くのか。人員を増やして対応する必要があるのか。平成15～17年頃に採用をスリム化した時点で、高経年化対応が生じることは分かっていたと思うが、本当はどのような理由で採用抑制をしていたのか。業務の外注化は考えなかったのか。	第7回	南委員	今回回答
9	設備の維持管理・保守で電力固有の取引先に限定されることはあり得るが、具体的な説明が必要。	第8回	松村委員	今回回答
設備投資関連費用				
10	設備投資額で浜岡の再稼働のための費用が多いようだが中身を教えて欲しい。	第6回	辰巳委員	次回以降回答
11	設備投資の「その他」の中身を教えて欲しい。	第6回	山内委員	次回以降回答
12	一般電気事業者は送電線はこれまで100年は使えると主張されていたと思うが、45年で張替えをするというのはダブルスタンダードではないか。	第7回	松村委員	今回回答
13	平成23年度から25年度までに行った投資の削減の中に、当面の金額を効率化していくように見せるために先送りとなっているようなものが入っていないか。	第8回	辰巳委員	今回回答
14	取替えが必要な送電線について、潮風の影響などの抽象的な理由ではなく、ひとつひとつ具体的に必要な理由を、幹線との比較で、示していただきたい。	第8回	松村委員	次回以降回答
その他経費				
15	団体費について、団体を厳選して算入したと言っていたが、その団体はどのような団体か。	第6回	楓オブ	今回回答
事業報酬				
16	レートベースから繰延税金資産を除いている理由はなぜか。また、前回は(注2)で「原価変動調整積立金と電力小売部分自由化以前に積み立てた別途積立金の合計額」となっているが、関係性を教えて欲しい。	第6回	山内委員	次回以降回答